令和３年度後期終業式　訓話

令和４年３月２４日
高志中学校長　山内　悟

皆さん、おはようございます。

昨日は、卒業式に参加・協力してくれてありがとうございました。卒業式の式辞は、卒業生だけでなく１年生・２年生の皆さんへのメッセージのつもりでも述べたものです。記憶にとどめて、今後の参考にしてもらえると、非常にうれしいです。

今日は、令和３年度最後の日です。今年もコロナ禍に翻弄される１年となってしまいましたが、こうやって今日を迎えることができたのを一緒に喜びましょう。そして、大切な、１年の締めくくりの日ですから、自分自身のこれまでの過ごし方を振り返り、今後に向けた見通しを持つ機会を持つようにしてください。そして、１年後、あるいは２年後に自分が高志中学校を卒業する時のイメージをしっかり持って、これからの高志中学校生活を送ってもらいたいと思っています。

今日は、「越境」について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
この２年間、コロナ禍の影響で、２年生の東京研修、３年生のシンガポール研修といった、本校の特色ある学習活動が中止となりました。実施されていれば、福井や日本を離れて、新しい世界に触れることができていたはずでした。
これらの研修は、中学生のうちから県外や国外に出かけて、それぞれの地域の事情を学んでもらおう、福井や日本のことを外側からも見る機会を持ってもらおう、という考えから実施されてきたものです。
「越境」とは「境界を越えて行くこと」という意味です。東京研修やシンガポール研修は、まさに、越境することで学びを広げようというものです。高志高校と高志中学校は、越境することで新しい学びや発見を得てもらおう、越境することで新しい世界を広げてもらおう、越境することで新しい自分になってもらおう、ということを目指してきた学校です。
そして、ここにいる皆さんは、高志中学校・高校のそのような教育方針に関心を持ってくれた人たち、東京研修・シンガポール研修やその他の活動を通して「越境を経験したい」と望んで高志中学校の門をたたいた人たちだと、私は解釈しています。

ここまで、「越境」の例として、県外や国外に出ることを挙げました。
次に、「越境」の他の例として、「心理的越境」について考えてみましょう。

皆さんは、「コンフォートゾーン」という言葉を聞いたことがありますか。「居心地の良い場所」という意味で、別の言い方をすると、気の合う人とだけ仲良くしていればよい場所、気が向いたことだけやっていればよい場所、人から尊敬されたりちやほやされたりして常にいい気分でいられる場所、のように解釈することができます。このようなストレス

がほとんどない場所に居続けると、残念ながら、人は成長することができません。
　では、成長するためには、どうするのがよいかというと、「コンフォートゾーン」から「越境」するのです。
　「コンフォートゾーン」の外側には、「ラーニングゾーン」、さらにその外側には「パニックゾーン」があると考え方があります。
　「パニックゾーン」は、これまでのやり方が全く通用しない場所で、どうしてよいかが分からず、何をやっても効き目がないために、文字通りパニックを起こしてしまうようなところです。ここにいる人も、残念ながら、有益な学びを得ることはできません。それどころか、強いストレスにさらされて思考停止状態に陥ったり、胃が痛くなるなど体調不良になったり、無力感にさいなまれるなど苦しい精神状態になったりします。
　勘の鋭い皆さんはもう分かったと思いますが、中間にある「ラーニングゾーン」に身を置くのが成長へのポイントということになります。
　「ラーニングゾーン」は、未知の領域であることには間違いないので、多少の不安やストレスは感じます。でも、その不安レベルは自分でコントロールできる程度で、そこにある課題も少し努力すれば何とか解決できるレベルのものです。ストレスも、程よい緊張感を保ってくれる程度のもので、心身に不調を及ぼすようなものではありません。むしろ、やる気を起こさせてくれるような種類のストレス（「ハッピーストレス」とも呼ばれる）です。このような環境の中で「現状＋１」の努力をし続けることが自分の成長につながり、コンフォートゾーンを徐々に大きくしていくことができるというわけです。

　人間関係の「越境」についても、少し触れておきます。
　皆さんは、各地域の小学校から高志中学校に来ました。この時点で、小学校時代の友達グループからの「越境」をすでに経験しています。高志中学校では学年が上がるごとにクラス替えがありますから、そこでも「越境」します。こうやって、私たちは、年月の流れとともに「越境」を経験し、適応能力を高めながら成長していくのです。

　今は「分断の時代」と言われることがあります。ＡＩやＩＣＴの発達で、私たちは自分の好みに合ったものを手に入れ、趣味や考えがよく似た人同士のグループに所属するように仕向けられています。この状態が進むと、誰もが「コンフォートゾーン」の中にいるようになり、私たちは知らない間に「分断」された状態になります。人は「越境」することで成長するという考えに立つと、「分断」されたままの状態は健全とは言えません。
　皆さんには、自分の周りにある境界線に気付く力と、そこから一歩外へ踏み出す勇気を身に付けるためのチャレンジを重ねてほしいと思います。

　皆さんが、高志中学校を卒業して高志高校に進む時には、高志中学校・高校が初めて経験する形の新しい「越境」が待っています。その前に、高志中学校で過ごす残りの１年、２年の間に、様々な「越境」を経験して、一回りも二回りも大きな成長を遂げてくれることを期待しています。

　それでは、明日からの春休みを有意義に過ごしてください。